

平成24年5月10日

社団法人 米穀安定供給確保支援機構 情報部

米取引関係者の判断に関する調査結果 (平成24年4月分)

社団法人米穀安定供給確保支援機構（米穀機構）は、米の需給動向や価格水準などの取引状況を把握することを目的に「米取引関係者の判断に関する調査」を平成24年3月から毎月実施しています。

平成24年4月分の調査概要については次のとおりです。

なお、同調査は農林水産省が平成23年5月から平成24年2月まで実施してきた「米取引関係者の判断」調査を米穀機構が引き継ぎ、平成24年3月から実施主体として調査及び公表するものです。

【調査概要】

米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をDI[※]として算出したものです（詳細は6ページ参照）。

平成24年4月分の主な調査結果

■主食用米の需給動向

- ア. 現状判断 80（前月からの増減 +12）
- イ. 見通し判断 78（前月からの増減 +18）

■主食用米の米価水準

- ア. 現状判断 76（前月からの増減 +8）
- イ. 見通し判断 68（前月からの増減 +14）

※DI (Diffusion Index)

アンケート回答者の判断や方向性を指数化したものです。

米取引関係者の判断(平成24年4月)

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

①主食用米の需給動向

(ア)現状判断DI

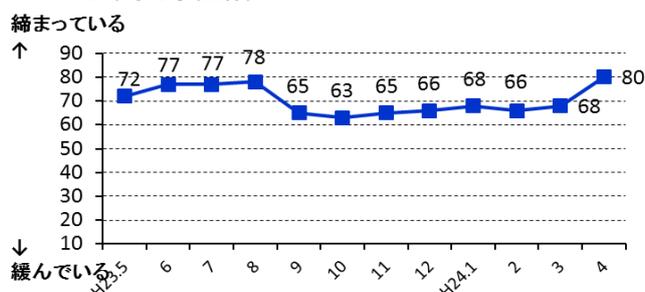
前月からの増減 +12 (今月の数値 80)

(イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

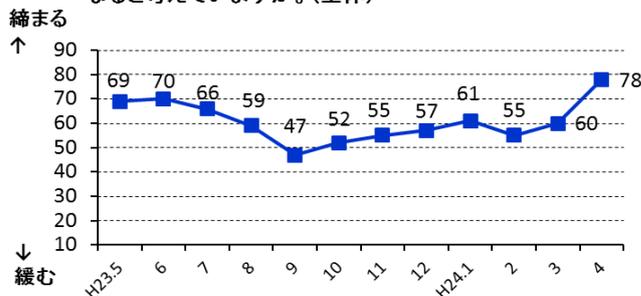
前月からの増減 +18 (今月の数値 78)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



②主食用米の米価水準

(ア)現状判断DI

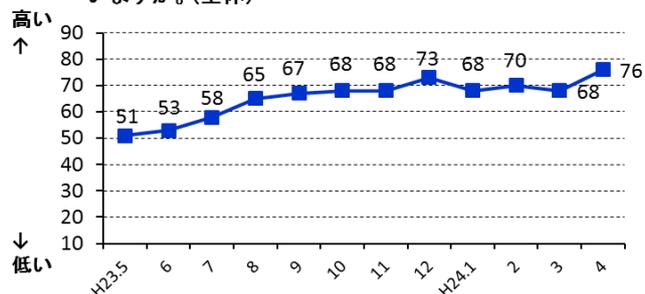
前月からの増減 +8 (今月の数値 76)

(イ)見通し判断DI (向こう3ヶ月)

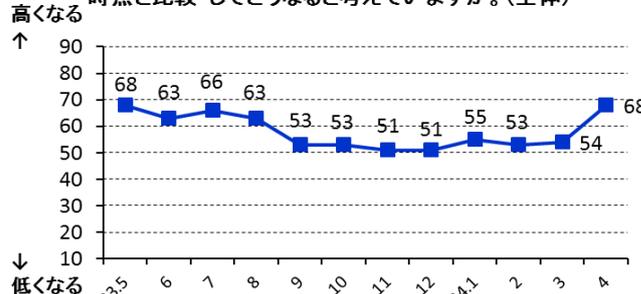
前月からの増減 +14 (今月の数値 68)

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という前月より強くなった傾向を示します。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H23.5	3%	33%	12%	-	17%	7%	28%
H23.6	5%	38%	8%	-	20%	8%	20%
H23.7	7%	34%	11%	-	12%	8%	28%
H23.8	14%	28%	7%	-	19%	7%	25%
H23.9	22%	23%	4%	-	23%	7%	21%
H23.10	22%	23%	3%	-	27%	6%	19%
H23.11	14%	18%	3%	-	34%	10%	21%
H23.12	8%	11%	2%	46%	22%	3%	8%
H24.1	6%	14%	3%	48%	19%	2%	8%
H24.2	4%	17%	2%	48%	20%	3%	6%
H24.3	2%	14%	4%	54%	18%	2%	6%
H24.4	2%	9%	2%	69%	8%	5%	6%

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断DI

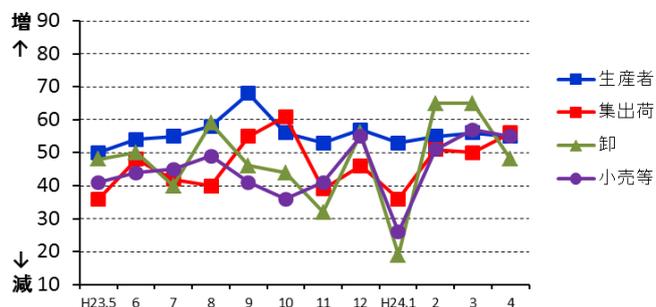
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	-1	(今月の数値 55)
集出荷：前月からの増減	+6	(今月の数値 56)
卸：前月からの増減	-17	(今月の数値 48)
小売等：前月からの増減	-2	(今月の数値 55)

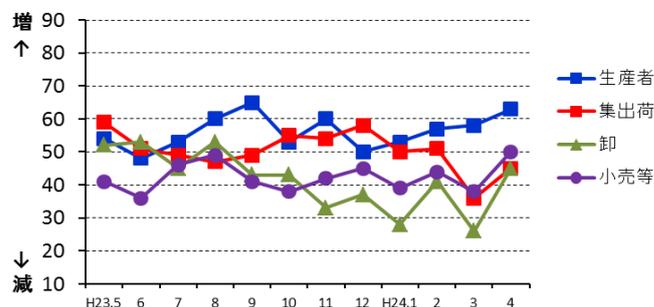
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+5	(今月の数値 63)
集出荷：前月からの増減	+9	(今月の数値 45)
卸：前月からの増減	+19	(今月の数値 45)
小売等：前月からの増減	+12	(今月の数値 50)

①-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通しDI

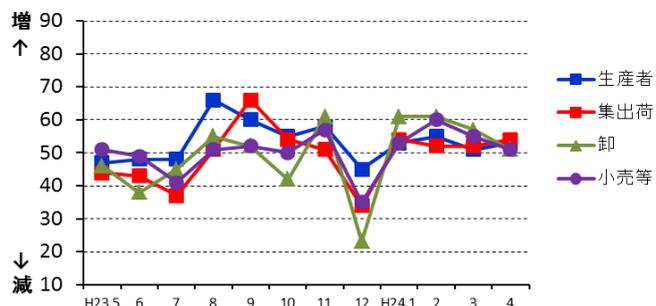
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	+2	(今月の数値 53)
集出荷：前月からの増減	+2	(今月の数値 54)
卸：前月からの増減	-6	(今月の数値 51)
小売等：前月からの増減	-4	(今月の数値 51)

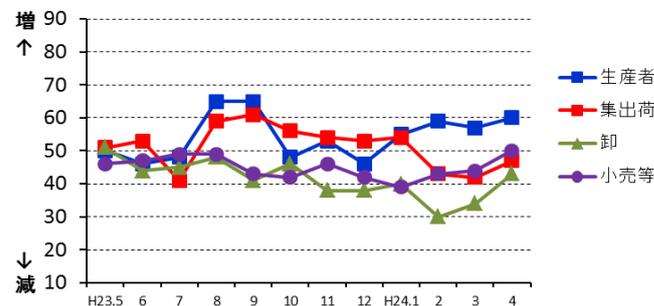
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+3	(今月の数値 60)
集出荷：前月からの増減	+5	(今月の数値 47)
卸：前月からの増減	+9	(今月の数値 43)
小売等：前月からの増減	+6	(今月の数値 50)

①-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“販売数量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断DI

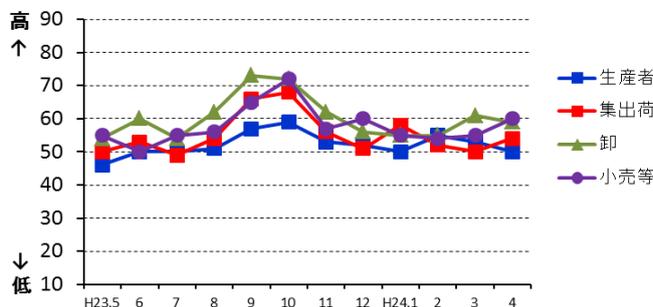
a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	-3	(今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	+4	(今月の数値 54)
卸	： 前月からの増減	-2	(今月の数値 59)
小売等	： 前月からの増減	+5	(今月の数値 60)

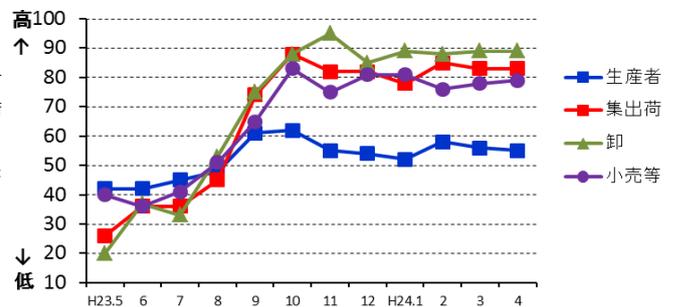
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	-1	(今月の数値 55)
集出荷	： 前月からの増減	±0	(今月の数値 83)
卸	： 前月からの増減	±0	(今月の数値 89)
小売等	： 前月からの増減	+1	(今月の数値 79)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しDI

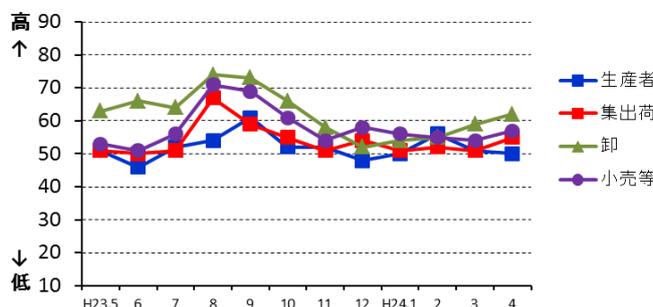
a. 先月との比較

生産者	： 前月からの増減	-1	(今月の数値 50)
集出荷	： 前月からの増減	+4	(今月の数値 55)
卸	： 前月からの増減	+3	(今月の数値 62)
小売等	： 前月からの増減	+3	(今月の数値 57)

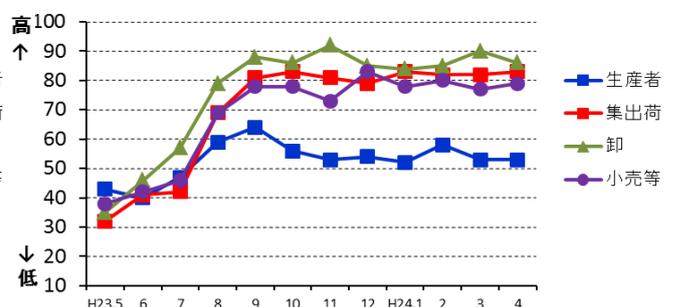
b. 前年同月との比較

生産者	： 前月からの増減	±0	(今月の数値 53)
集出荷	： 前月からの増減	+1	(今月の数値 83)
卸	： 前月からの増減	-4	(今月の数値 86)
小売等	： 前月からの増減	+2	(今月の数値 79)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断DI

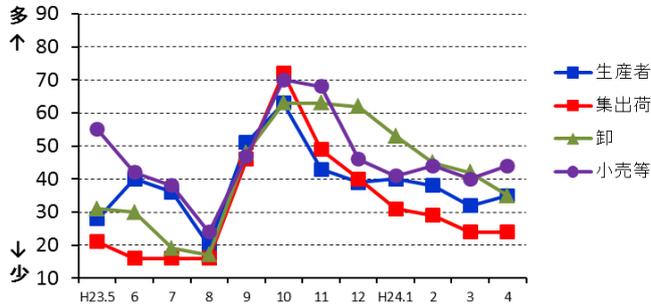
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	+3	(今月の数値 35)
集出荷：前月からの増減	±0	(今月の数値 24)
卸：前月からの増減	-7	(今月の数値 35)
小売等：前月からの増減	+4	(今月の数値 44)

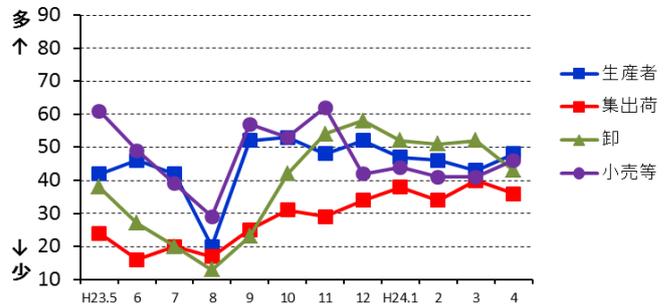
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+5	(今月の数値 48)
集出荷：前月からの増減	-4	(今月の数値 36)
卸：前月からの増減	-9	(今月の数値 43)
小売等：前月からの増減	+5	(今月の数値 46)

③-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”について、”先月と比較”するといかがですか。



③-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”在庫量”は、”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通しDI

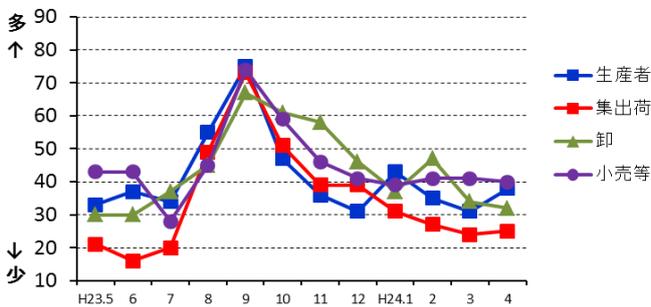
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	+7	(今月の数値 38)
集出荷：前月からの増減	+1	(今月の数値 25)
卸：前月からの増減	-2	(今月の数値 32)
小売等：前月からの増減	-1	(今月の数値 40)

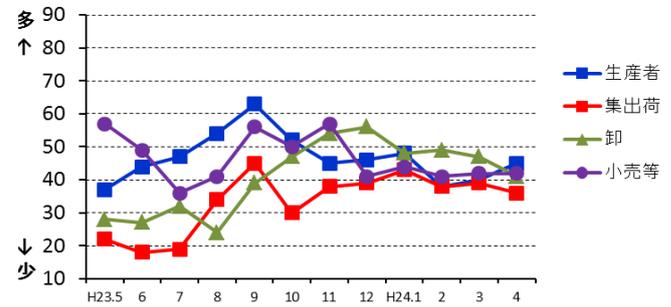
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	+5	(今月の数値 45)
集出荷：前月からの増減	-3	(今月の数値 36)
卸：前月からの増減	-6	(今月の数値 41)
小売等：前月からの増減	±0	(今月の数値 42)

③-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”在庫量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の154客体
- 有効回答数：128客体

生産者 10
集出荷業者／団体 31
卸売業者(主に主食用米) 31
小売業者／中食・外食業者 ... 37
その他 19

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品(酒類を含む)を製造・販売する者

- 結果公表：原則、翌月上旬

《利用上の注意》

- 本アンケート調査は、当面の間試行的に実施するものであり、今後必要に応じて変更することもあり得ます。
- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断(評価)にそれぞれ点数(評価点)を与え、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ(量感)を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

【DIの算出例】

(問) 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

本件に関する問い合わせ先
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町15-15
社団法人米穀安定供給確保支援機構
情報部 TEL03-4334-2161
担当：藤原 馬場 小野塚